

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	031 荃崎こもれば六斗の森管理運営事業						
予算科目	01-070104-11			担当部課	経済部荃崎こもれば六斗の森		
市長公約	99	127-3		係名			
戦略プラン				新規・継続	継続		
				事業分類	自治事務（任意）		
				事業体制	一部委託		
個別計画	第2次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度		
根拠法令等	荃崎こもれば六斗の森条例			SDGs			

事業の概要

対象	施設利用者
目的	安全かつ安心な滞在型余暇施設としての場を提供する。
概要 (取組内容)	敷地内の自然環境の保全、施設利用者に対する施設の充実 観光施設としての適切な管理運営

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	115,020	60,409	77,409	
	決算額	(千円)	0	0	87,209	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	23,986	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	57,900	0	0
		その他	(千円)	0	0	5,323	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	13,926	13,866	13,932	13,932	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	146.00	108.00	135.00	135.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	宿泊棟利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1,778.0	920.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	宿泊棟（3棟）の利用者数						

2	指標名	キャンプ場利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3,436.0	1,612.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	テント、オートキャンプ場の利用者数					
3	指標名	バーベキュー場利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3,257.0	1,159.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	屋根なし、屋根ありバーベキュー場の利用者数					
4	指標名	利用料収入 (千円)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	12,895.0	9,943.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	8,918.0	5,223.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	各施設(キャビン・テント・オートキャンプ場・バーベキュー場)の使用料、バーベキュー用具の利用料、バーベキュー用具レンタル料					
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	バーベキュー場利用者専用の駐車場が確保された。 管理棟の執務環境を改善するための、空調設備が設置された。 団体用屋根付きバーベキュー場の設計業務が完了した。					
成果	キャンプ利用者のニーズに応えるため、サンタリー棟(更衣室、シャワー室、授乳室、炊事場、トイレ併設)が竣工され、令和3年度からの利用に向けた整備が出来た。					
課題	業務	屋根付きバーベキュー場及びサンタリー棟が整備されたため、利用者が増加傾向となった場合には駐車場の確保が必要となる。				
	組織、予算等	特になし				
改善目標	繁忙期における利用者駐車台数を調査し、不足台数を算出する。駐車台数が不足する場合には、施設内における整備、または施設外(土地賃借)での整備を検討する。					

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—